

# 二級河川那賀川河川整備計画【原案】

静岡県 静岡県

## 流域の概要



## 今までの経緯

- 第1 回流委員会【令和3年1月26日開催】**
  - 設立と概要説明
  - 流域及び河川の現状等
- 第2 回流委員会【令和6年2月6日開催】**
  - 流域及び河川の現状と課題
  - 河川整備の目標に関する事項
  - 河川整備の実施に関する事項(治水)
- 第3 回流委員会【令和7年3月14日開催】**
  - 河川整備の目標に関する事項
  - 河川整備の実施に関する事項(治水)
- 第4 回流委員会【令和8年1月30日開催】**
  - 河川整備の目標に関する事項
  - (治水、環境、地域との関わり)
  - 河川整備計画(原案)

河川整備計画【原案】

## 河川整備の目標

整備対象期間 今後、概ね30年間(必要に応じて見直しを行う)

### 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

- 洪水については、近年の浸水被害の要因、沿川の状況等を踏まえ、河川の洪水の流下能力を最大限発揮できるよう、流下断面を維持することを目標とする。
- 近年、流域内で発生している内水被害に対しては、支川や水路の管理者である松崎町と連携し、内水氾濫による浸水被害の軽減を図る。
- 河川津波対策に関しては、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす「計画津波」に対して、人命や財産への被害リスクを低減させるため、海岸等における防御と一体となって、津波被害を軽減するものとする。

### 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- 河川の適正な利用と流水の正常な機能の維持に関しては、引き続き河川の流況の把握に努め、農業用水などの既存の水利用や動植物の生息・生育環境、景観などに配慮しつつ、松崎町や地域住民と連携して家庭等の汚濁負荷の一層の削減を目指す。
- 河川に関わる森林などの多面的機能の保全についても関係機関と連携した取組を促進して、健全な水循環系の維持を目指す。

### 河川環境の整備と保全に関する目標

- 多様な動植物が生息・生育している那賀川の自然環境を踏まえ、河川における上下流の連続性の確保やカワノリが生育できる浅場の保全などに対して最大限に配慮し、河川が有する自然の営力を活用して河川本来の多様な動植物が生息・生育している水辺環境の保全を図る。
- 在来種への影響が懸念される特定外来生物については、学識者や関係機関と連携し、外来生物被害予防3原則(入れない・捨てない・拡げない)の普及に努める。
- 水質については、引き続き定期的な水質調査結果等により、現状把握を行い、良好な状態の維持に努める。

### 河川と地域との関わりに関する目標

- 松崎町の歴史や風土、自然との調和を図りつつ、河川環境や防災に関する情報を地域住民等と幅広く共有し、河川愛護の精神がさらに広がり、那賀川と人との良好な関係を継続するため、引き続き松崎町や地域住民等との良好な関係構築に努める。
- 汽水域におけるカワノリの採取、鮎釣りなどの四季折々の風物詩、昔ながらの佇まいを残す温泉やまこ壁などの歴史ある町並み等と調和した水辺空間等、那賀川ならではの歴史・風土と地域資源を活かしながら、流域住民や関係機関等と連携し、住む人にも訪れる人にも魅力ある水辺づくりを目指す。

## 治水に関する現状と課題

### 【現状と課題】

○昭和33年に狩野川合流において135戸の床上浸水が発生し、近年でも平成17年の台風11号や平成20年の豪雨などにより、浸水被害が発生している。  
 ○那賀川流域は多くの区間で年超過降雨1/5を下回っている。  
 ○近年、家庭浸水被害があった平成17年、平成20年、平成21年の被害は、排水路の排水不良による内水氾濫が浸水の主たる浸水要因であると推測されている。  
 ○津波被害に関しては、安政元年(1854年)に発生した安政東海地震により、沿岸部に高さ3m程度の津波が到達した記録が残っている。  
 ○「計画津波」は那賀川の河川内を約10m以上上るとともに、「最大クラスの津波」では、河川及び海岸堤防を越え、沿岸部で最大約10.0ha以上が浸水すると想定されている。

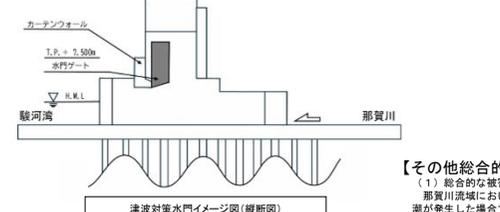
**<洪水等浸水対策>**  
 ○浸水防止施設が未設置の箇所も確認されており、河川水位上昇時に河川水が逆流して浸水している可能性があるなど、静岡県と松崎町が連携した浸水被害軽減の取組が重要である。  
**<津波対策>**  
 ○那賀川流域においては、海岸における防御と一体となって津波対策施設を整備するとともに、「松崎町津波防災地域づくり推進計画」に基づき、地域の特性に配慮した構造、外観とすることし、ハード・ソフト対策を総合的に組み合わせた歩道防衛による津波防災を推進する必要がある。

### 昭和51年7月10日豪雨 浸水実績図



## 河川整備の実施に関する事項

河川名	工種	目的	区間	主な整備内容
那賀川	津波対策水門	津波対策	河口	水門設置



※津波対策水門イメージ図は、現時点のイメージのため、今後詳細な検討を進める中で変更になる可能性がある。

### 【河川の維持】

- 那賀川流域において、災害発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、河川を持つ多面的機能が十分に発揮できるよう、適正なパトロールの実施等により点検し、松崎町や地域住民等と連携を図りながら、適切な維持管理を行う。
- (1) 堤防及び護岸等の維持管理
  - (2) 許可工作物の維持管理
  - (3) 河内内堆積土砂及び植生等の維持管理
  - (4) 雨水貯留機能の維持
  - (5) 水量・水質の監視等
  - (6) 河川環境の整備と保全

### 【河川整備計画の主要な整備箇所】



### 【その他総合的な取組み】

- (1) 総合的な被害軽減対策  
 那賀川流域において、施設能力を上回る洪水や津波、高潮が発生した場合でも、できるだけ被害の軽減が図れるよう、関係機関や流域住民との連携を強化し、地域の防災力の向上に努めるとともに、住民自らがリスクを察知し主体的に避難して被害の軽減を図る取組を推進する。  
 また、河川への流出量増加による災害の発生や土砂・洪水の流出による河道閉塞や施設損傷を防ぐため、関係機関との連携強化に努める。
- ～総合的な被害軽減対策～  
 ○河川情報の提供  
 ○洪水浸水想定区域図等の情報提供  
 ○流域との連携、流域における取組への支援等～  
 ○大規模防災減災協議会等による関係機関との連携  
 ○あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な「流域治水」への転換  
 ○ハザードマップ活用  
 ○流域住民との連携、地域活動への支援  
 ○流域の適正管理に関する取組～  
 ○保水・遊水機能を有する森林や農地の保全に関する働きかけや情報共有等

## 河川の利用及び水利用に関する現状と課題

### 【現状と課題】

○那賀川水系の流水は、農業用水として慣行水利36件が用いられている。  
 ○流域内の各河川には漁業権が設定され、地元の漁業協同組合によりアユ、アマゴの放流が行われており、春から夏にかけて釣り客も多数訪れている。

○河川の適正な利用を維持するため、引き続き環境の把握に努め、地域住民や関係機関と連携して流水の適正な利用に努める必要がある。



## 河川環境に関する現状と課題

### 【現状と課題】

○現在環境基準の類型指定はされていないものの、那賀川の宮の前橋、岩科川の宇治橋で行った水質調査※で水質観測が実施されている。  
 ※水質調査の詳細(調査機関：松崎町、年間に対する調査頻度：2回(夏期、冬期)、年間評価値の算出方法：2回の計測値の平均より算出)  
 ○平成13年以降の調査結果では、両地点ともBOD値は約0.5~1.5mg/Lで推移しており、概ね環境基準の類型相当である。  
 ○キヨロサエ(絶滅危惧ⅠB類(EN))などの希少種が確認されている一方、カマツカ、特定外来生物のアメリカワリガニ(アユカケ) (絶滅危惧Ⅱ類(VU))やアユ、アマゴ(絶滅危惧Ⅱ類(VU))については、毎年春から夏にかけて放流事業が行われている。  
 ○冬期には河内部の汽水域において、松崎町特産であるカワノリ(主にヒラアノリ、ボウアノリ)が生息している。  
 ○河川周辺に生息する動植物については、上流部から河口にかけてそれぞれの生息環境に適した多様な種が確認されている。  
 ○上流部では、アマゴ(絶滅危惧Ⅱ類(VU))やヨシノボリ類、ヤマトヌマエビなどの渓流種に生息する種が確認されている。中流部では、流れの緩やかな瀬にスミウキゴリが生息し、両側回遊性のボウズナゼなども確認されている。また、5月の中旬から6月上旬にかけてゲンジボタルがみられる。下流部ではヌマチチブや汽水性のハゼ類が産卵し、カマキリ(アユカケ) (絶滅危惧Ⅱ類(VU))やアユ、ニホンウナギ(絶滅危惧ⅠB類(EN))などの回遊魚が産卵しており、潮の影響を受けた生態系を創り出している。

○今後も、良好な状態を維持することが求められている。  
 ○那賀川水系では多様な動植物が生息・生育している。このような良好な自然環境は、流域だけでなく地域の重要な財産であるため、静岡県や松崎町、流域住民と連携した自然環境の保全が必要である。  
 ○河内内には堤防等の防衛工作物が多量存在し、施設周辺には堤防等の形成が見られるなど生物にとって良好な生息環境となっていない河内、魚道がなく、河川における上下流の連続性の障害となるなどの課題も見られる。

## 【那賀川流域の希少種・外来種(抜粋)】 【那賀川流域BODの経年変化】

